

## <白金標準、4384円を超えると4437円が見えて来る・・・>



(出所：オアシス)

南アフリカの5月の鉱業生産は白金族金属（PGM）が前年同月比7.8%減、ダイヤモンドは31.4%減少し、総合で前年同月比0.8%減少している。またアングロ・アメリカ・プラチナの第2四半期の生産量は前年同期で11%増加したが、PGMは一部の鉱山の操業閉鎖などをを受け前年同期で9%減少している。特に南アフリカの国営電力会社エスコムは、17日に8基の電力タービンの故障を受けてステージ6を実施し、また週末には予想以上の電力需要のためステージ5を実施するなど電力不足は収まる動きを見せていない。

特に白金標準先物は一時4383円、4384円で高値が止まり、4090円からの上昇幅の0.382の調整安に等しい4270円で下げ止まると為替の円安を受けて4351円まで戻りを見せている。特にNY白金のドル建て価格がドル高でも960ドルで下げ渋るなど、供給不足の影響を受けた値動きを見せている。そのため今週に目先のダブルトップを示す4383円、4384円を上回る事が出来た場合は、6月19日の高値4437円に向けた上昇が強まると見られ、強気を維持しながら対応するのが妥当と思える。

### <テクニカル>

白金標準先物の日足をMACDとRCIで見た場合は、MACDではMACDとシグナルが上昇を続けており、RCIでは短期が切り下げているが、長期は上昇を続けるなど、オシレーターは強気の域と思われる。特に10日移動平均線が上昇しながら日足が200日移動平均線で下げ渋るなど4300円の抵抗を見せており、押し目買いの対応が妥当と思える。

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行って下さい。売買の判断はお客様御自身で行って下さい。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取引1,990,000円(2023年7月24日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約10倍から70倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚あたり往復87,120円(2023年7月24日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当社本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話03-5540-8423(受付時間:平日8:30~17:30)

証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター  
<https://www.nisshokyo.or.jp>